

# 調 査 の 概 要

## 1. 調査の目的

この調査は、医薬品、医薬部外品、衛生材料及び医療機器の生産（輸入）等の実態を明らかにすることを目的とする。

## 2. 調査の対象

薬事法の規定により、医薬品、医薬部外品又は医療機器の製造販売業又は製造業の許可を受けて、医薬品、医薬部外品又は医療機器を製造販売又は製造する事業所。ただし、次の業種に属する事業所は調査対象から除外している。

- (1) 薬局開設者が当該薬局の設備及び器具をもって製造する医薬品の製造業又は製造販売業
- (2) コンドーム又は視力補正用レンズの製造販売業（小分けされたものを輸入するものを除く）であって小分けされたものみの製造販売を行うもの又は製造業であって小分けのみを行うもの
- (3) 脱脂綿又はガーゼの製造販売業（小分けされたものを輸入するものを除く）であって小分けされたものみの製造販売を行うもの又は製造業であって小分けのみを行うもの及び生理処理用品（脱脂綿のみからなるものを除く）の製造販売業又は製造業であって大判製品のみ製造販売又は製造を行うもの

## 3. 調査の期間

平成18年1月1日から同年12月31日

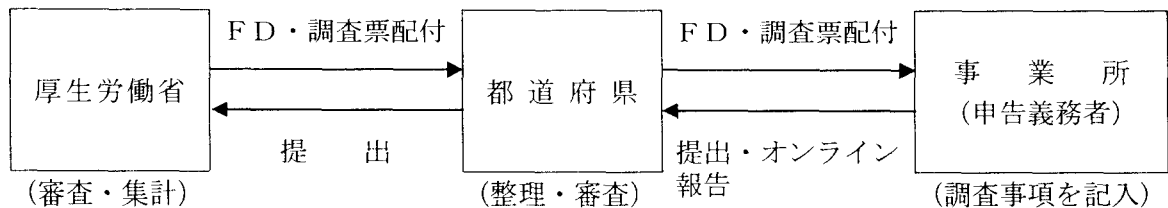
## 4. 調査事項

医薬品、医薬部外品、衛生材料及び医療機器の生産、輸入、出荷、輸出及び在庫の数量及び金額等。上記のほか、医薬品に係わる製造所は従業者（臨時従業者を含む）数。

## 5. 調査の方法及び報告義務

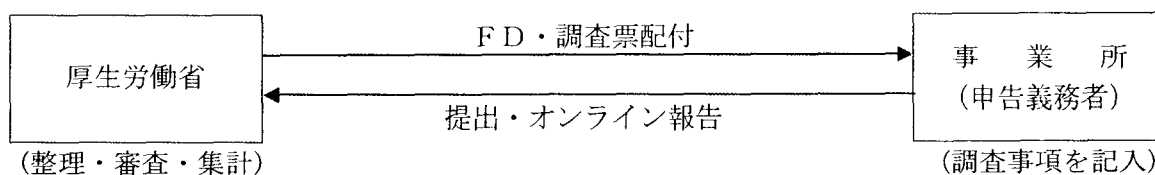
### (1) 製造所

厚生労働省が都道府県を経由して、オンライン及び申告義務者に配付するFD・調査票用紙により行う。



## (2) 製造販売事務所

厚生労働省がオンライン及び申告義務者に配付するFD・調査票用紙により行う。



## 6. 結果の集計

厚生労働省医政局において行った。

## 7. 利用上の注意

### (1) 表章記号

－：単位未満のもの又は実績がないもの。

0, 0.0：平均値、比率等で丸めた結果が表章すべき最下位の桁の1に該当しないもの。

### (2) 地域別

北海道：北海道

東北：青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島

関東越静：茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡

東海北陸：富山、石川、岐阜、愛知、三重

近畿：福井、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

中国：鳥取、島根、岡山、広島、山口

四国：徳島、香川、愛媛、高知

九州：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

### (3) 用語の説明

**生産金額**：各製造所において調査期間に製造された最終製品（衛生材料の脱脂綿及びガーゼにあっては大判製品）の生産金額です。この金額は生産数量に製造販売業者販売価格（消費税額を含む）を乗じた金額です。

**生産数量**：各製造所において調査期間に製造された最終製品（衛生材料の脱脂綿及びガーゼにあっては大判製品）の生産数量です。この場合において国家検定品はその合格数量をもって生産数量としています。

**出荷金額**：調査期間において出荷（販売による出荷、同一企業体内の他の製造所、営業所、他の場所にある倉庫へのお荷等を含む）がなされた金額です。この金額は出荷数量に製造販売業者販売価格（消費税額を含む）を乗じた金額です。

**製造所数（製造販売事務所数）**：調査期間において最終製品（衛生材料の脱脂綿及びガーゼにあっては大判製品）の生産（輸入）、出荷又は月末在庫に異動があった製造所（製造販売事務所）の数です。（月平均）

**医療用医薬品**：医師若しくは歯科医師によって使用され、又はこれらの者の処方せん若しくは指示によって使用されることを目的として供給される医薬品です。

**その他の医薬品**：医療用医薬品以外の医薬品です。

**一般用医薬品**：その他の医薬品のうち、配置用家庭薬以外の医薬品です。

**配置用家庭薬**：その他の医薬品のうち、主として配置用家庭薬に用いることを目的として供給される医薬品です。

**輸入※**：主として輸入された医薬品原料（原末、原液、バルク製品及び製剤原料を含む）から製造された医薬品です。

**受託生産**：製造所が、委受託工程が製造工程のすべて又は一部にかかわらず最終製品となる製造工程を他社の製造販売事務所から受託することです。ただし当該調査においては、包装、表示又は保管のみを行うものは除きます。

**従業者**：調査月の月末現在において、実際に医薬品の生産（輸入）、管理、その他の業務に常時従事する従業者です。たとえ、重役、理事者であっても医薬品製造（輸入）に関係ある一定の職務に従事する者は常用従業者となります。（月平均）

**大判製品**：原綿又は原反等から製造されたものであって、精練漂白、乾燥作業等をなし、小分け包装を施し得る状態にあるものです。衛生材料の脱脂綿及びガーゼについては、最終製品ではなく、小分け前の大判製品の状態にあるものを報告の対象としています。



# 結果の概要

## I 医薬品

平成18年における医薬品最終製品の国内での生産金額は6兆4,381億円、外国からの輸入金額は1兆5,648億円で、合計金額は8兆0,029億円であった。

これに対し、国内への出荷金額は7兆7,805億円、外国への輸出金額は1,326億円であった。

また、製剤で輸入され国内で小分け製造される医薬品については、平成16年以前においては生産金額に分類していたが、平成17年以降においては外国からの輸入金額に分類している。但し、同一条件での比較を可能とするため、平成16年以前についても平成17年以降の分類で表記している。

### 1. 医薬品の生産状況

(1) 平成18年における医薬品最終製品の生産金額は6兆4,381億円で前年の6兆3,907億円と比較すると、474億円(0.7%)の増加となっている。過去10年の推移をみると、平成9年は1.1%の増加、10年は5.4%の減少、11年は7.1%の増加、12年は1.9%の減少、13年は4.3%の増加、14年は0.8%の減少、15年は0.5%の増加、16年は0.9%の減少、17年は4.4%の増加となった。このように、薬価基準改定が実施された年は減少していたが、18年は薬価基準が改定されたにもかかわらず、0.7%の増加となっている。なお、薬価基準改定は、薬剤費ベースで平成9年以降では、平成9年(-4.4%、このほかに消費税対応分+1.4%)、10年(-9.7%)、12年(-7.0%)、14年(-6.3%)、16年(-4.2%)、18年(-6.7%)に実施されている。

これを用途区分別に見ると、医療用医薬品の生産金額は5兆8,036億円で1.1%の増加、その他の医薬品の生産金額は6,345億円で2.3%の減少で、平成10年以降その他の医薬品の生産の減少が続いている。また、構成比で見ると、医療用医薬品が全体の90.1%を占め、その他の医薬品は9.9%を占めている。

(2) 最近10年の医薬品生産金額の推移は、第1表に示すとおりである。

(3) 医薬品薬効大分類別生産金額は第2表のほか各表に示すとおりであり、上位10分類で4兆8,753億円、75.7%を占めている。

(4) 年間250億円以上の医薬品薬効中分類別生産金額は第3表に示すとおりである。

第1表 医薬品生産金額の推移

年	生 産			医 療 用 医 薬 品			そ の 他 の 医 薬 品			一 般 用 医 薬 品			配 置 用 家 庭 薬		
	金 額	伸 び 率	構 成 比	金 額	伸 び 率	構 成 比	金 額	伸 び 率	構 成 比	金 額	伸 び 率	構 成 比	金 額	伸 び 率	構 成 比
	百万円	%	%	百万円	%	%	百万円	%	%	百万円	%	%	百万円	%	%
平成9年	5,911,316	1.1	100.0	4,955,621	1.0	83.8	955,695	1.9	16.2	887,151	1.8	15.0	68,545	4.0	1.2
平成10年	5,610,039	-5.4	100.0	4,713,233	-5.1	84.0	896,805	-6.6	16.0	830,379	-6.8	14.8	66,426	-3.2	1.2
平成11年	6,041,082	7.1	100.0	5,198,073	9.3	86.0	843,009	-6.4	14.0	784,186	-5.9	13.0	58,824	-12.9	1.0
平成12年	5,927,321	-1.9	100.0	5,127,818	-1.4	86.5	799,503	-5.4	13.5	745,377	-5.2	12.6	54,126	-8.7	0.9
平成13年	6,195,362	4.3	100.0	5,425,860	5.5	87.6	769,503	-3.9	12.4	715,461	-4.2	11.5	54,042	-0.2	0.9
平成14年	6,144,801	-0.8	100.0	5,391,257	-0.6	87.7	753,545	-2.1	12.3	701,839	-1.9	11.4	51,706	-4.5	0.8
平成15年	6,173,374	0.5	100.0	5,458,948	1.2	88.4	714,426	-5.5	11.6	666,865	-5.2	10.8	47,561	-8.7	0.8
平成16年	6,121,169	-0.9	100.0	5,440,184	-0.3	88.9	680,984	-4.9	11.1	636,758	-4.7	10.4	44,226	-7.5	0.7
平成17年	6,390,722	4.4	100.0	5,741,280	5.5	89.8	649,442	-4.6	10.2	611,492	-4.0	9.6	37,951	-14.2	0.6
平成18年	6,438,082	0.7	100.0	5,803,581	1.1	90.1	634,501	-2.3	9.9	599,259	-2.0	9.3	35,243	-7.1	0.5

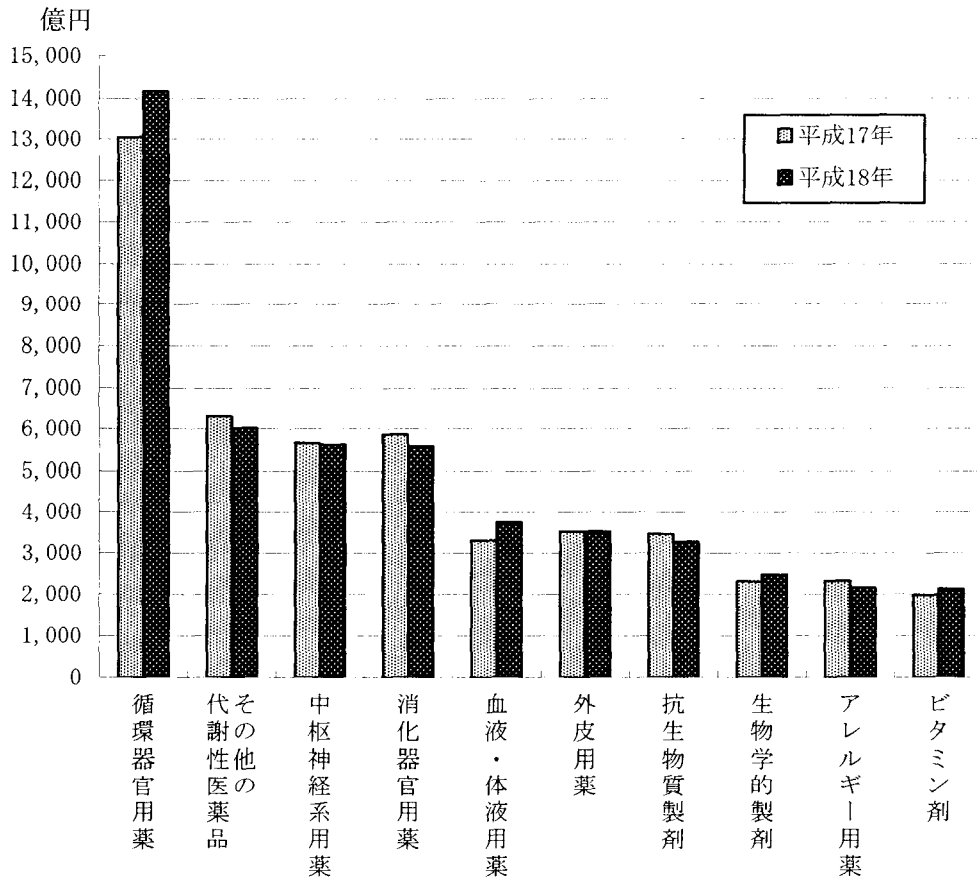
注) 平成17年から生産及び輸入の定義が変更されたが、同一条件での比較のため、平成16年以前についても平成17年以降の定義で表記している。

第2表 医薬品薬効大分類別生産金額

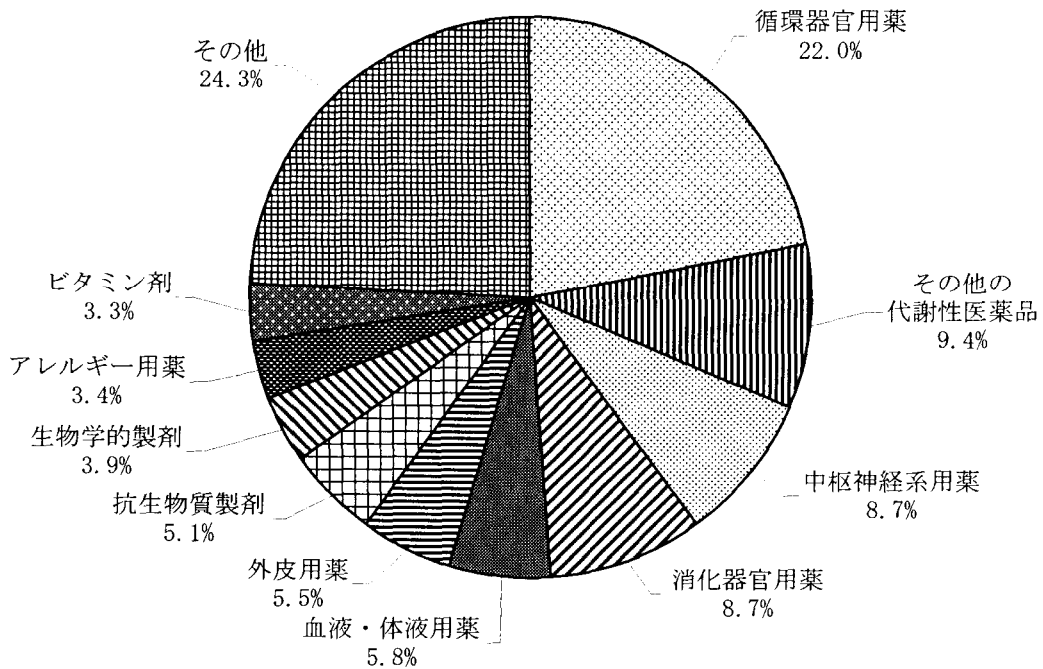
順位	薬効大分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
		平成18年	平成17年	増減額	比率	平成18年	平成17年
		百万円	百万円	百万円	%	%	%
	総数	6,438,082	6,390,722	47,360	0.7	100.0	100.0
1	循環器官用薬	1,416,798	1,304,104	112,694	8.6	22.0	20.4
2	その他の代謝性医薬品	602,148	630,551	-28,403	-4.5	9.4	9.9
3	中枢神経系用薬	562,200	565,940	-3,740	-0.7	8.7	8.9
4	消化器官用薬	558,736	587,284	-28,548	-4.9	8.7	9.2
5	血液・体液用薬	375,619	330,734	44,886	13.6	5.8	5.2
6	外皮用薬	352,581	353,117	-536	-0.2	5.5	5.5
7	抗生物質製剤	327,662	346,951	-19,289	-5.6	5.1	5.4
8	生物学的製剤	249,170	232,168	17,002	7.3	3.9	3.6
9	アレルギー用薬	217,070	233,466	-16,396	-7.0	3.4	3.7
10	ビタミン剤	213,357	198,979	14,378	7.2	3.3	3.1
11	感覚器官用薬	193,205	214,799	-21,595	-10.1	3.0	3.4
12	体外診断用医薬品	190,447	181,030	9,418	5.2	3.0	2.8
13	呼吸器官用薬	147,399	149,654	-2,255	-1.5	2.3	2.3
14	滋養強壯薬	147,392	145,774	1,618	1.1	2.3	2.3
15	腫瘍用薬	138,119	137,993	126	0.1	2.1	2.2
16	泌尿生殖器官及び肛門用薬	123,903	141,146	-17,243	-12.2	1.9	2.2
17	ホルモン剤（抗ホルモン剤を含む。）	123,230	122,312	918	0.8	1.9	1.9
18	化学療法剤	117,178	119,044	-1,866	-1.6	1.8	1.9
19	漢方製剤	107,616	103,343	4,273	4.1	1.7	1.6
20	診断用薬（体外診断用医薬品を除く。）	60,083	62,872	-2,789	-4.4	0.9	1.0
21	人工透析用薬	49,878	51,001	-1,123	-2.2	0.8	0.8
22	末梢神経系用薬	39,130	38,954	176	0.5	0.6	0.6
23	放射性医薬品	31,890	31,433	457	1.5	0.5	0.5
24	公衆衛生用薬	23,094	23,681	-587	-2.5	0.4	0.4
25	アルカロイド系麻薬（天然麻薬）	17,269	18,421	-1,151	-6.3	0.3	0.3
	その他	52,908	65,972	-13,063	-19.8	0.8	1.0

（注）医薬品薬効大分類の順位は、平成18年の生産金額の順による。

第1図 医薬品主要薬効大分類別生産金額



第2図 医薬品薬効大分類別生産金額割合





第3表 医薬品薬効中分類別生産金額

順位	薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
		18年	17年	増減額	比率	18年	17年
		百万円	百万円	百万円	%	%	%
	総数	6,438,082	6,390,722	47,360	0.7	100.0	100.0
1	血圧降下剤	546,272	498,798	47,474	9.5	8.5	7.8
2	他に分類されない代謝性医薬品	378,232	400,532	-22,300	-5.6	5.9	6.3
3	消化性潰瘍用剤	354,335	354,152	184	0.1	5.5	5.5
4	高脂血症用剤	352,005	275,787	76,218	27.6	5.5	4.3
5	血管拡張剤	325,792	322,774	3,018	0.9	5.1	5.1
6	その他の血液・体液用薬	250,119	219,517	30,601	13.9	3.9	3.4
7	鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤	239,327	231,142	8,185	3.5	3.7	3.6
8	主としてグラム陽性・陰性菌に作用する抗生物質製剤	214,051	228,269	-14,219	-6.2	3.3	3.6
9	その他のアレルギー用薬	201,937	216,191	-14,255	-6.6	3.1	3.4
10	血液製剤類	176,599	166,138	10,461	6.3	2.7	2.6
11	眼科用剤	163,674	179,193	-15,519	-8.7	2.5	2.8
12	解熱鎮痛消炎剤	142,111	146,876	-4,765	-3.2	2.2	2.3
13	その他の中枢神経系用薬	124,453	103,832	20,621	19.9	1.9	1.6
14	糖尿病用剤	112,471	114,509	-2,038	-1.8	1.7	1.8
15	その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	109,479	127,482	-18,003	-14.1	1.7	2.0
16	漢方製剤	107,616	103,343	4,273	4.1	1.7	1.6
17	生化学的検査用試薬	89,976	84,113	5,863	7.0	1.4	1.3
18	その他の循環器官用薬	88,789	92,359	-3,570	-3.9	1.4	1.4
19	精神神経用剤	88,266	79,963	8,303	10.4	1.4	1.3
20	免疫血清学的検査用試薬	77,160	72,626	4,534	6.2	1.2	1.1
21	総合感冒剤	74,960	83,926	-8,965	-10.7	1.2	1.3
22	催眠鎮静剤、抗不安剤	72,878	76,695	-3,817	-5.0	1.1	1.2
23	主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用する抗生物質製剤	72,180	67,099	5,081	7.6	1.1	1.0
24	その他のホルモン剤（抗ホルモン剤を含む。）	71,649	72,478	-828	-1.1	1.1	1.1
25	たん白アミノ酸製剤	71,498	66,828	4,670	7.0	1.1	1.0
26	代謝拮抗剤	68,692	68,661	31	0.0	1.1	1.1
27	合成抗菌剤	66,659	73,147	-6,488	-8.9	1.0	1.1
28	血液代用剤	66,009	72,701	-6,692	-9.2	1.0	1.1
29	ビタミンB剤（ビタミンB1剤を除く。）	64,700	56,110	8,590	15.3	1.0	0.9
30	その他の消化器官用薬	63,690	64,390	-699	-1.1	1.0	1.0
31	その他の滋養強壮薬	54,378	54,049	328	0.6	0.8	0.8
32	不整脈用剤	54,268	60,417	-6,149	-10.2	0.8	0.9
33	混合ビタミン剤（ビタミンA・D混合製剤を除く。）	52,616	48,284	4,332	9.0	0.8	0.8
34	ビタミンA及びD剤	52,164	46,587	5,578	12.0	0.8	0.7
35	血液凝固阻止剤	48,328	27,036	21,292	78.8	0.8	0.4
36	X線造影剤	47,035	51,136	-4,101	-8.0	0.7	0.8
37	去たん剤	44,539	46,583	-2,044	-4.4	0.7	0.7
38	総合代謝性製剤	42,371	43,766	-1,396	-3.2	0.7	0.7
39	気管支拡張剤	39,441	39,132	309	0.8	0.6	0.6
40	ワクチン類	37,003	38,076	-1,073	-2.8	0.6	0.6
41	下剤、浣腸剤	36,550	39,346	-2,796	-7.1	0.6	0.6
42	外皮用殺菌消毒剤	35,851	38,893	-3,042	-7.8	0.6	0.6
43	その他の腫瘍用薬	32,434	35,113	-2,679	-7.6	0.5	0.5
44	抗ウイルス剤	32,118	30,791	1,327	4.3	0.5	0.5
45	放射性医薬品	31,890	31,433	457	1.5	0.5	0.5
46	強心剤	30,947	33,131	-2,185	-6.6	0.5	0.5
47	人工腎臓透析用剤	30,814	31,008	-194	-0.6	0.5	0.5
48	複合胃腸剤	27,587	27,593	-7	0.0	0.4	0.4
49	痛風治療剤	27,177	26,680	497	1.9	0.4	0.4
50	呼吸促進剤	26,011	20,859	5,151	24.7	0.4	0.3
51	抗パーキンソン剤	25,719	40,502	-14,783	-36.5	0.4	0.6
52	その他の生物学的製剤	25,125	24,564	561	2.3	0.4	0.4

(注) 医薬品薬効中分類の順位は、平成18年の生産金額の順位によるものであり、生産金額が250億円以上のものである。

## 2. 医薬品の薬効分類別生産状況

### (1) 循環器官用薬

循環器官用薬の生産金額は1兆4,168億円であり、医薬品総生産金額の22.0%を占め、前年に比較して1,127億円(8.6%)の増加となっている。

内訳は第4表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、血圧降下剤で38.6%を占めており、高脂血症用剤24.8%、血管拡張剤23.0%、その他の循環器官用薬6.3%という順になっている。

第4表 循環器官用薬の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成18年	平成17年	増減額	比率	平成18年	平成17年
総数	1,416,798	1,304,104	112,694	8.6	100.0	100.0
強心剤	30,947	33,131	-2,185	-6.6	2.2	2.5
不整脈用剤	54,268	60,417	-6,149	-10.2	3.8	4.6
利尿剤	9,384	11,821	-2,436	-20.6	0.7	0.9
血圧降下剤	546,272	498,798	47,474	9.5	38.6	38.2
血管補強剤	59	76	-18	-23.1	0.0	0.0
血管収縮剤	9,283	8,942	341	3.8	0.7	0.7
血管拡張剤	325,792	322,774	3,018	0.9	23.0	24.8
高脂血症用剤	352,005	275,787	76,218	27.6	24.8	21.1
その他の循環器官用薬	88,789	92,359	-3,570	-3.9	6.3	7.1

### (2) その他の代謝性医薬品

その他の代謝性医薬品の生産金額は6,021億円であり、医薬品総生産金額の9.4%を占め、前年に比較して284億円(4.5%)の減少となっている。

内訳は第5表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、他に分類されない代謝性医薬品で62.8%を占めており、糖尿病用剤18.7%、総合代謝性製剤7.0%、痛風治療剤4.5%という順になっている。

第5表 その他の代謝性医薬品の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成18年	平成17年	増減額	比率	平成18年	平成17年
総数	602,148	630,551	-28,403	-4.5	100.0	100.0
肝臓疾患用剤	11,068	11,645	-577	-5.0	1.8	1.8
解毒剤	10,464	11,634	-1,171	-10.1	1.7	1.8
習慣性中毒用剤	119	119	0	0.0	0.0	0.0
痛風治療剤	27,177	26,680	497	1.9	4.5	4.2
酵素製剤	20,246	21,664	-1,418	-6.5	3.4	3.4
糖尿病用剤	112,471	114,509	-2,038	-1.8	18.7	18.2
総合代謝性製剤	42,371	43,766	-1,396	-3.2	7.0	6.9
他に分類されない代謝性医薬品	378,232	400,532	-22,300	-5.6	62.8	63.5

### (3) 中枢神経系用薬

中枢神経系用薬の生産金額は5,622億円であり、医薬品総生産金額の8.7%を占め、前年に比較して37億円(0.7%)の減少となっている。

内訳は第6表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、解熱鎮痛消炎剤で25.3%を占めており、その他の中枢神経系用薬22.1%、精神神経用剤15.7%、総合感冒剤13.3%、催眠鎮静剤、抗不安剤13.0%という順になっている。

第6表 中枢神経系用薬の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成18年	平成17年	増減額	比率	平成18年	平成17年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	562,200	565,940	-3,740	-0.7	100.0	100.0
全身麻酔剤	9,145	8,720	424	4.9	1.6	1.5
催眠鎮静剤、抗不安剤	72,878	76,695	-3,817	-5.0	13.0	13.6
抗てんかん剤	23,639	24,298	-659	-2.7	4.2	4.3
解熱鎮痛消炎剤	142,111	146,876	-4,765	-3.2	25.3	26.0
興奮剤、覚せい剤	1,028	1,128	-100	-8.9	0.2	0.2
抗パーキンソン剤	25,719	40,502	-14,783	-36.5	4.6	7.2
精神神経用剤	88,266	79,963	8,303	10.4	15.7	14.1
総合感冒剤	74,960	83,926	-8,965	-10.7	13.3	14.8
その他の中枢神経系用薬	124,453	103,832	20,621	19.9	22.1	18.3

### (4) 消化器官用薬

消化器官用薬の生産金額は5,587億円であり、医薬品総生産金額の8.7%を占め、前年に比較して285億円(4.9%)の減少となっている。

内訳は第7表のとおりである。このうち最も生産金額の大きいものは、消化性潰瘍用剤で63.4%を占めており、その他の消化器官用薬11.4%、下剤、浣腸剤6.5%、複合胃腸剤4.9%という順になっている。

第7表 消化器官用薬の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成18年	平成17年	増減額	比率	平成18年	平成17年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	558,736	587,284	-28,548	-4.9	100.0	100.0
止しゃ剤、整腸剤	23,391	22,919	472	2.1	4.2	3.9
消化性潰瘍用剤	354,335	354,152	184	0.1	63.4	60.3
健胃消化剤	14,408	15,311	-903	-5.9	2.6	2.6
制酸剤	17,373	15,692	1,681	10.7	3.1	2.7
下剤、浣腸剤	36,550	39,346	-2,796	-7.1	6.5	6.7
利胆剤	21,401	47,881	-26,480	-55.3	3.8	8.2
複合胃腸剤	27,587	27,593	-7	-0.0	4.9	4.7
その他の消化器官用薬	63,690	64,390	-699	-1.1	11.4	11.0

### (5) 血液・体液用薬

血液・体液用薬の生産金額は3,756億円であり、医薬品総生産金額の5.8%を占め、前年に比較して449億円(13.6%)の増加となっている。

内訳は第8表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、その他の血液・体液用薬で66.6%を占めており、血液代用剤17.6%、血液凝固阻止剤12.9%、止血剤3.0%の順になっている。

第8表 血液・体液用薬の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成18年	平成17年	増減額	比率	平成18年	平成17年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	375,619	330,734	44,886	13.6	100.0	100.0
血液代用剤	66,009	72,701	-6,692	-9.2	17.6	22.0
止血剤	11,163	11,479	-317	-2.8	3.0	3.5
血液凝固阻止剤	48,328	27,036	21,292	78.8	12.9	8.2
その他の血液・体液用薬	250,119	219,517	30,601	13.9	66.6	66.4

### (6) 外皮用薬

外皮用薬の生産金額は3,526億円であり、医薬品総生産金額の5.5%を占め、前年に比較して5億円(0.2%)の減少となっている。

内訳は第9表のとおりである。このうち最も生産金額の大きいものは、鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤で67.9%を占めており、外皮用殺菌消毒剤10.2%、寄生性皮膚疾患用剤6.6%、その他の外皮用薬4.6%という順になっている。

第9表 外皮用薬の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成18年	平成17年	増減額	比率	平成18年	平成17年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	352,581	353,117	-536	-0.2	100.0	100.0
外皮用殺菌消毒剤	35,851	38,893	-3,042	-7.8	10.2	11.0
創傷保護剤	3,472	5,183	-1,711	-33.0	1.0	1.5
化膿性疾患用剤	9,024	9,450	-425	-4.5	2.6	2.7
鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤	239,327	231,142	8,185	3.5	67.9	65.5
寄生性皮膚疾患用剤	23,273	26,714	-3,441	-12.9	6.6	7.6
皮膚軟化剤(腐しよく剤を含む。)	11,996	11,482	514	4.5	3.4	3.3
毛髪用剤(発毛剤、脱毛剤、染毛剤、養毛剤)	13,323	14,991	-1,668	-11.1	3.8	4.2
浴剤	213	221	-7	-3.4	0.1	0.1
その他の外皮用薬	16,102	15,041	1,060	7.1	4.6	4.3

(7) 抗生物質製剤

抗生物質製剤の生産金額は3,277億円であり、医薬品総生産金額の5.1%を占め、前年に比較して193億円(5.6%)の減少となっている。

内訳は第10表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、主としてグラム陽性・陰性菌に作用する抗生物質製剤で65.3%を占めており、主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用する抗生物質製剤22.0%、主としてグラム陽性菌に作用する抗生物質製剤6.0%、主としてカビに作用する抗生物質製剤4.4%という順になっている。

第10表 抗生物質製剤の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成18年	平成17年	増減額	比率	平成18年	平成17年
総数	百万円 327,662	百万円 346,951	百万円 -19,289	% -5.6	% 100.0	% 100.0
主としてグラム陽性菌に作用する抗生物質製剤	19,709	20,493	-785	-3.8	6.0	5.9
主としてグラム陰性菌に作用する抗生物質製剤	4,582	5,455	-873	-16.0	1.4	1.6
主としてグラム陽性・陰性菌に作用する抗生物質製剤	214,051	228,269	-14,219	-6.2	65.3	65.8
主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用する抗生物質製剤	72,180	67,099	5,081	7.6	22.0	19.3
主としてグラム陽性・陰性菌、リケッチア、クラミジアに作用する抗生物質製剤	2,217	2,747	-530	-19.3	0.7	0.8
主として抗酸菌に作用する抗生物質製剤	501	865	-365	-42.1	0.2	0.2
主としてカビに作用する抗生物質製剤	14,423	22,016	-7,593	-34.5	4.4	6.3
その他の抗生物質製剤(複合抗生物質製剤を含む。)	-	7	-7	-100.0	-	0.0

(8) 生物学的製剤

生物学的製剤の生産金額は2,492億円であり、医薬品総生産金額の3.9%を占め、前年に比較して170億円(7.3%)の増加となっている。

内訳は第11表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、血液製剤類で70.9%を占めており、ワクチン類14.9%、その他の生物学的製剤10.1%、混合生物学的製剤3.9%という順になっている。

第11表 生物学的製剤の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成18年	平成17年	増減額	比率	平成18年	平成17年
総数	百万円 249,170	百万円 232,168	百万円 17,002	% 7.3	% 100.0	% 100.0
ワクチン類	37,003	38,076	-1,073	-2.8	14.9	16.4
毒素及びトキシソイド類	524	510	14	2.7	0.2	0.2
抗毒素類及び抗レプトスピラ血清類	84	145	-61	-42.2	0.0	0.1
血液製剤類	176,599	166,138	10,461	6.3	70.9	71.6
生物学的試験用製剤類	-	-	-	-	-	-
混合生物学的製剤	9,834	2,735	7,100	259.6	3.9	1.2
その他の生物学的製剤	25,125	24,564	561	2.3	10.1	10.6

(9) アレルギー用薬

アレルギー用薬の生産金額は2,171億円であり、医薬品総生産金額の3.4%を占め、前年に比較して164億円(7.0%)の減少となっている。

内訳は第12表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、その他のアレルギー用薬で93.0%を占めており、抗ヒスタミン剤3.7%、刺激療法剤3.3%という順になっている。

第12表 アレルギー用薬の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成18年	平成17年	増減額	比率	平成18年	平成17年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	217,070	233,466	-16,396	-7.0	100.0	100.0
抗ヒスタミン剤	7,978	9,693	-1,715	-17.7	3.7	4.2
刺激療法剤	7,156	7,582	-426	-5.6	3.3	3.2
非特異性免疫原製剤	-	-	-	-	-	-
その他のアレルギー用薬	201,937	216,191	-14,255	-6.6	93.0	92.6

(10) ビタミン剤

ビタミン剤の生産金額は2,134億円であり、医薬品総生産金額の3.3%を占め、前年に比較して144億円(7.2%)の増加となっている。

内訳は第13表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、ビタミンB剤(ビタミンB1剤を除く。)で30.3%を占めており、混合ビタミン剤(ビタミンA・D混合製剤を除く。)24.7%、ビタミンA及びD剤24.4%、ビタミンB1剤6.4%という順になっている。

第13表 ビタミン剤の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成18年	平成17年	増減額	比率	平成18年	平成17年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	213,357	198,979	14,378	7.2	100.0	100.0
ビタミンA及びD剤	52,164	46,587	5,578	12.0	24.4	23.4
ビタミンB1剤	12,883	12,700	184	1.4	6.0	6.4
ビタミンB剤(ビタミンB1剤を除く。)	64,700	56,110	8,590	15.3	30.3	28.2
ビタミンC剤	6,164	6,512	-349	-5.4	2.9	3.3
ビタミンE剤	6,208	5,682	526	9.3	2.9	2.9
ビタミンK剤	9,816	11,594	-1,778	-15.3	4.6	5.8
混合ビタミン剤(ビタミンA・D混合製剤を除く。)	52,616	48,284	4,332	9.0	24.7	24.3
その他のビタミン剤	8,805	11,510	-2,706	-23.5	4.1	5.8

(11) 感覚器官用薬

感覚器官用薬の生産金額は1,932億円であり、医薬品総生産金額の3.0%を占め、前年に比較して216億円(10.1%)の減少となっている。

内訳は第14表のとおりある。このうち最も生産金額が大きいものは、眼科用剤で84.7%を占めており、耳鼻科用剤9.7%、鎮量剤5.6%という順になっている。

第14表 感覚器官用薬の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成18年	平成17年	増減額	比率	平成18年	平成17年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	193,205	214,799	-21,595	-10.1	100.0	100.0
眼科用剤	163,674	179,193	-15,519	-8.7	84.7	83.4
耳鼻科用剤	18,711	24,606	-5,894	-24.0	9.7	11.5
鎮量剤	10,783	10,944	-161	-1.5	5.6	5.1
その他の感覚器官用薬	37	57	-20	-35.7	0.0	0.0

(12) 体外診断用医薬品

体外診断用医薬品の生産金額は1,904億円であり、医薬品総生産金額の3.0%を占め、前年に比較して94億円(5.2%)の増加となっている。

内訳は第15表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、生化学的検査用試薬で47.2%を占めており、免疫血清学的検査用試薬40.5%、一般検査用試薬6.6%、血液検査用試薬3.9%という順になっている。

第15表 体外診断用医薬品の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成18年	平成17年	増減額	比率	平成18年	平成17年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	190,447	181,030	9,418	5.2	100.0	100.0
一般検査用試薬	12,475	12,427	48	0.4	6.6	6.9
血液検査用試薬	7,356	6,553	803	12.3	3.9	3.6
生化学的検査用試薬	89,976	84,113	5,863	7.0	47.2	46.5
免疫血清学的検査用試薬	77,160	72,626	4,534	6.2	40.5	40.1
細菌学的検査用薬	3,260	5,111	-1,851	-36.2	1.7	2.8
病理組織検査用薬	219	201	19	9.3	0.1	0.1

(13) 呼吸器官用薬

呼吸器官用薬の生産金額は1,474億円であり、医薬品総生産金額の2.3%を占め、前年に比較して23億円(1.5%)の減少となっている。

内訳は第16表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、去たん剤で30.2%を占めており、気管支拡張剤26.8%、呼吸促進剤17.6%、鎮咳去たん剤12.9%という順になっている。

第16表 呼吸器官用薬の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成18年	平成17年	増減額	比率	平成18年	平成17年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	147,399	149,654	-2,255	-1.5	100.0	100.0
呼吸促進剤	26,011	20,859	5,151	24.7	17.6	13.9
鎮咳剤	9,214	8,723	491	5.6	6.3	5.8
去たん剤	44,539	46,583	-2,044	-4.4	30.2	31.1
鎮咳去たん剤	19,017	19,310	-294	-1.5	12.9	12.9
気管支拡張剤	39,441	39,132	309	0.8	26.8	26.1
含嗽剤	9,122	14,960	-5,838	-39.0	6.2	10.0
その他の呼吸器官用薬	55	86	-31	-35.9	0.0	0.1

(14) 滋養強壯薬

滋養強壯薬の生産金額は1,474億円であり、医薬品総生産金額の2.3%を占め、前年に比較して16億円(1.1%)の増加となっている。

内訳は第17表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、たん白アミノ酸製剤で48.5%を占めており、その他の滋養強壯薬36.9%、無機質製剤6.0%、糖類剤4.5%という順になっている。

第17表 滋養強壯薬の生産金額

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成18年	平成17年	増減額	比率	平成18年	平成17年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	147,392	145,774	1,618	1.1	100.0	100.0
カルシウム剤	4,687	4,459	228	5.1	3.2	3.1
無機質製剤	8,776	11,856	-3,080	-26.0	6.0	8.1
糖類剤	6,683	6,819	-136	-2.0	4.5	4.7
有機酸製剤	-	-	-	-	-	-
たん白アミノ酸製剤	71,498	66,828	4,670	7.0	48.5	45.8
臓器製剤	1,145	1,521	-376	-24.7	0.8	1.0
乳幼児用剤	226	242	-16	-6.5	0.2	0.2
その他の滋養強壯薬	54,378	54,049	328	0.6	36.9	37.1



(15) 腫瘍用薬

腫瘍用薬の生産金額は1,381億円であり、医薬品総生産金額の2.1%を占め、前年に比較して1億円(0.1%)の増加となっている。

内訳は第18表のとおりである。このうち最も生産金額が大きいものは、代謝拮抗剤で49.7%を占めており、その他の腫瘍用薬23.5%、抗腫瘍性植物成分製剤17.5%、抗腫瘍性抗生物質製剤8.2%という順になっている。

第18表 腫瘍用薬

薬効中分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成18年	平成17年	増減額	比率	平成18年	平成17年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	138,119	137,993	126	0.1	100.0	100.0
アルキル化剤	1,387	1,007	380	37.7	1.0	0.7
代謝拮抗剤	68,692	68,661	31	0.0	49.7	49.8
抗腫瘍性抗生物質製剤	11,373	10,824	550	5.1	8.2	7.8
抗腫瘍性植物成分製剤	24,232	22,389	1,843	8.2	17.5	16.2
その他の腫瘍用薬	32,434	35,113	-2,679	-7.6	23.5	25.4

### 3. 医薬品の剤型分類、用途区分及び薬効分類別生産状況

#### (1) 剤型分類

医薬品剤型分類別生産金額についてみると、第19表に示すとおりである。

このうち、最も生産金額の大きいものは錠剤で48.6%を占め、カプセル剤の7.2%、注射液剤の6.9%、散剤・顆粒剤等の6.3%の順となっている。また、この4分類で全体の69.0%を占めている。

対前年増減額についてみると、錠剤1,813億円(6.2%)、軟膏・クリーム剤157億円(12.7%)、硬膏剤・パップ剤・パスタ剤54億円(2.8%)等が増加している。

一方、カプセル剤391億円(7.8%)、粉末注射剤248億円(8.5%)、外用液剤218億円(7.5%)、注射液剤165億円(3.6%)等が減少している。

第19表 医薬品剤型分類別生産金額

剤型分類	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成18年	平成17年	増減額	比率	平成18年	平成17年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総数	6,438,082	6,390,722	47,360	0.7	100.0	100.0
散剤・顆粒剤等	403,061	413,219	-10,158	-2.5	6.3	6.5
錠剤	3,126,764	2,945,439	181,325	6.2	48.6	46.1
丸剤	15,861	16,108	-247	-1.5	0.2	0.3
カプセル剤	464,375	503,496	-39,121	-7.8	7.2	7.9
内用液剤	175,192	174,076	1,116	0.6	2.7	2.7
注射液剤	444,887	461,396	-16,508	-3.6	6.9	7.2
粉末注射剤	265,872	290,634	-24,762	-8.5	4.1	4.5
外用液剤	268,352	290,151	-21,799	-7.5	4.2	4.5
エアゾール剤	11,195	12,611	-1,416	-11.2	0.2	0.2
軟膏・クリーム剤	139,385	123,662	15,723	12.7	2.2	1.9
坐剤	23,460	24,496	-1,036	-4.2	0.4	0.4
硬膏剤・パップ剤・パスタ剤	194,207	188,832	5,375	2.8	3.0	3.0
その他	905,470	946,601	-41,131	-4.3	14.1	14.8

#### (2) 用途区分

医薬品用途区分別生産金額についてみると、第20表に示すとおりである。

医療用医薬品の生産金額は5兆8,036億円であり、前年に比較して623億円(1.1%)の増加となり、全体の90.1%を占めている。一方、その他の医薬品の生産金額は6,345億円であり、前年に比較して321億円(2.3%)の減少となり、全体の9.9%を占めている。

第 20 表 医薬品用途区分別生産金額

用 途 区 分	生産金額		対前年増減		構成割合	
	平成 18 年	平成 17 年	増減額	比	平成18年	平成17年
	百万円	百万円	百万円	%	%	%
総 数	6,438,082	6,390,722	47,360	0.7	100.0	100.0
医療用医薬品	5,803,581	5,741,280	62,301	1.1	90.1	89.8
国産	4,341,577	4,247,218	94,359	2.2	67.4	66.5
輸入 ※	1,462,004	1,494,062	-32,058	-2.1	22.7	23.4
その他の医薬品	634,501	649,442	-14,941	-2.3	9.9	10.2
一般用医薬品	599,259	611,492	-12,233	-2.0	9.3	9.6
配置用家庭薬	35,243	37,951	-2,708	-7.1	0.5	0.6

(3) 薬効分類

医薬品薬効大分類別用途区分別生産金額は、第 2 1 表に示すとおりであり、公衆衛生薬を除いて医療用医薬品の占める割合がその他の医薬品より大きくなっている。

このほか、その他の医薬品の構成比が比較的高いものとして、滋養強壯薬（38.1%）、ビタミン剤（37.6%）、外皮用薬（33.4%）、感覚器官用薬（28.9%）等がある。

第21表 医薬品薬効大分類別

生産 金額 順位	薬効大分類	合計		医療用医薬			
				小計		国産	
		生産金額	構成比	生産金額	構成比	生産金額	構成比
	総数	百万円	%	百万円	%	百万円	%
		6,438,082	100.0	5,803,581	90.1	4,341,577	67.4
1	循環器官用薬	1,416,798	100.0	1,409,291	99.5	791,865	55.9
2	その他の代謝性医薬品	602,148	100.0	551,875	91.7	472,304	78.4
3	中枢神経系用薬	562,200	100.0	448,886	79.8	313,313	55.7
4	消化器官用薬	558,736	100.0	492,009	88.1	431,052	77.1
5	血液・体液用薬	375,619	100.0	375,610	100.0	311,441	82.9
6	外皮用薬	352,581	100.0	234,813	66.6	192,715	54.7
7	抗生物質製剤	327,662	100.0	327,556	100.0	242,102	73.9
8	生物学的製剤	249,170	100.0	249,170	100.0	249,124	100.0
9	アレルギー用薬	217,070	100.0	214,808	99.0	108,842	50.1
10	ビタミン剤	213,357	100.0	133,057	62.4	127,245	59.6
11	感覚器官用薬	193,205	100.0	137,273	71.1	104,248	54.0
12	体外診断用医薬品	190,447	100.0	187,759	98.6	186,975	98.2
13	呼吸器官用薬	147,399	100.0	125,028	84.8	97,784	66.3
14	滋養強壯薬	147,392	100.0	91,223	61.9	91,190	61.9
15	腫瘍用薬	138,119	100.0	138,119	100.0	106,740	77.3
16	泌尿生殖器官及び肛門用薬	123,903	100.0	115,702	93.4	77,700	62.7
17	ホルモン剤（抗ホルモン剤を含む。）	123,230	100.0	122,949	99.8	91,684	74.4
18	化学療法剤	117,178	100.0	117,178	100.0	72,036	61.5
19	漢方製剤	107,616	100.0	89,532	83.2	88,447	82.2
20	診断用薬（体外診断用医薬品を除く。）	60,083	100.0	60,083	100.0	16,060	26.7
21	人工透析用薬	49,878	100.0	49,878	100.0	49,878	100.0
22	末梢神経系用薬	39,130	100.0	38,677	98.8	28,869	73.8
23	放射性医薬品	31,890	100.0	31,890	100.0	31,890	100.0
24	公衆衛生用薬	23,094	100.0	5,308	23.0	5,308	23.0
25	アルカロイド系麻薬（天然麻薬）	17,269	100.0	17,269	100.0	17,269	100.0
	その他	52,908	100.0	38,640	73.0	35,497	67.1

(注) 医薬品薬効大分類の順位は、平成18年の生産金額の順による。

用途区分別生産金額

品		その他の医薬品					
輸 入※		小 計		一 般 用		配 置 用	
生産金額	構成比	生産金額	構成比	生産金額	構成比	生産金額	構成比
百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
1,462,004	22.7	634,501	9.9	599,259	9.3	35,243	0.5
617,426	43.6	7,507	0.5	5,916	0.4	1,591	0.1
79,571	13.2	50,273	8.3	47,029	7.8	3,243	0.5
135,573	24.1	113,314	20.2	103,197	18.4	10,117	1.8
60,956	10.9	66,728	11.9	62,030	11.1	4,698	0.8
64,169	17.1	9	0.0	9	0.0	-	-
42,098	11.9	117,768	33.4	113,409	32.2	4,359	1.2
85,454	26.1	106	0.0	106	0.0	-	-
45	0.0	-	-	-	-	-	-
105,966	48.8	2,262	1.0	2,172	1.0	90	0.0
5,812	2.7	80,300	37.6	73,812	34.6	6,488	3.0
33,025	17.1	55,932	28.9	54,257	28.1	1,675	0.9
784	0.4	2,689	1.4	2,689	1.4	-	-
27,243	18.5	22,371	15.2	21,563	14.6	808	0.5
33	0.0	56,169	38.1	55,625	37.7	543	0.4
31,379	22.7	-	-	-	-	-	-
38,002	30.7	8,201	6.6	8,189	6.6	12	0.0
31,266	25.4	281	0.2	281	0.2	-	-
45,142	38.5	-	-	-	-	-	-
1,084	1.0	18,084	16.8	16,655	15.5	1,429	1.3
44,024	73.3	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
9,808	25.1	453	1.2	449	1.1	4	0.0
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	17,786	77.0	17,786	77.0	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
3,143	5.9	14,269	27.0	14,082	26.6	187	0.4

#### 4. 医薬品の地域別生産金額

都道府県別医薬品生産金額は、第22表のとおりであり、47都道府県のうち20府県が前年に比較して減少している。増加額が最も大きいのは富山県で1,780億円(67.5%)、減少額が最も大きいのは大阪府で2,249億円(27.7%)となっている。

第22表 都道府県別医薬品生産金額

順位	都道府県名		生産金額		対前年増減		構成割合	
			平成18年	平成17年	増減額	比率	平成18年	平成17年
			百万円	百万円	百万円	%	%	%
	全	国	6,438,082	6,390,722	47,360	0.7	100.00	100.00
1	静	岡	630,771	673,778	-43,008	-6.4	9.80	10.54
2	埼	玉	602,006	589,284	12,723	2.2	9.35	9.22
3	大	阪	585,832	810,769	-224,937	-27.7	9.10	12.69
4	富	山	441,671	263,635	178,036	67.5	6.86	4.13
5	栃	木	354,374	389,438	-35,064	-9.0	5.50	6.09
6	神	奈	323,710	339,708	-15,998	-4.7	5.03	5.32
7	愛	知	314,023	322,606	-8,583	-2.7	4.88	5.05
8	兵	庫	307,455	293,641	13,814	4.7	4.78	4.59
9	岩	手	260,423	192,487	67,935	35.3	4.05	3.01
10	徳	島	233,514	216,034	17,481	8.1	3.63	3.38
11	山	口	215,564	223,372	-7,808	-3.5	3.35	3.50
12	岐	阜	210,352	209,916	436	0.2	3.27	3.28
13	東	京	188,077	145,152	42,925	29.6	2.92	2.27
14	滋	賀	177,152	201,616	-24,464	-12.1	2.75	3.15
15	茨	城	168,677	174,095	-5,418	-3.1	2.62	2.72
16	千	葉	140,852	143,620	-2,769	-1.9	2.19	2.25
17	三	重	134,197	159,984	-25,786	-16.1	2.08	2.50
18	山	形	130,322	111,727	18,595	16.6	2.02	1.75
19	群	馬	113,739	133,387	-19,648	-14.7	1.77	2.09
20	福	島	102,397	109,185	-6,788	-6.2	1.59	1.71
21	福	岡	89,952	79,712	10,240	12.8	1.40	1.25
22	京	都	82,909	42,139	40,770	96.8	1.29	0.66
23	佐	賀	80,923	72,964	7,960	10.9	1.26	1.14
24	石	川	78,556	57,972	20,583	35.5	1.22	0.91
25	長	野	75,650	87,084	-11,434	-13.1	1.18	1.36
26	福	井	61,817	60,100	1,717	2.9	0.96	0.94
27	熊	本	41,441	39,994	1,447	3.6	0.64	0.63
28	北	道	36,022	34,235	1,787	5.2	0.56	0.54
29	岡	山	34,459	32,273	2,186	6.8	0.54	0.50
30	秋	田	34,177	6,634	27,542	415.2	0.53	0.10
31	香	川	32,800	28,705	4,095	14.3	0.51	0.45
32	奈	良	25,620	26,397	-777	-2.9	0.40	0.41
33	大	分	23,145	19,768	3,377	17.1	0.36	0.31
34	愛	媛	21,791	18,173	3,618	19.9	0.34	0.28
35	宮	崎	17,575	18,373	-798	-4.3	0.27	0.29
36	新	潟	15,964	14,828	1,136	7.7	0.25	0.23
37	広	島	15,607	13,554	2,053	15.1	0.24	0.21
38	宮	城	12,474	13,123	-649	-4.9	0.19	0.21
39	山	梨	5,850	5,838	12	0.2	0.09	0.09
40	和	山	4,720	3,540	1,180	33.3	0.07	0.06
41	鹿	島	2,806	2,562	244	9.5	0.04	0.04
42	長	崎	1,962	1,942	20	1.0	0.03	0.03
43	島	根	1,932	1,985	-53	-2.7	0.03	0.03
44	青	森	1,600	2,004	-404	-20.2	0.02	0.03
45	沖	縄	1,441	1,564	-123	-7.9	0.02	0.02
46	高	知	1,114	1,181	-68	-5.7	0.02	0.02
47	鳥	取	667	642	25	3.8	0.01	0.01

(注) 都道府県の順位は、平成18年の生産金額の順による。

## 5. 医薬品の従業者規模別及び生産規模別構成

### (1) 従業者規模別構成

- 1) 従業者規模別製造所数（月平均）の状況は第23表のとおりである。これによると、1,919製造所のうち1,447（75.4%）は従業者規模50人未満の製造所であり、50人以上300人未満の製造所は432（22.5%）、300人以上の製造所は41（2.1%）である。

第23表 従業者規模別製造所数（月平均）

従業者規模	製造所数		構成割合	
	18年	17年	18年	17年
総数	1,919	1,923	100.0	100.0
9人以下	760	765	39.6	39.8
10～49	687	680	35.8	35.4
50～99	219	220	11.4	11.4
100～299	213	218	11.1	11.3
300～499	23	21	1.2	1.1
500～999	15	15	0.8	0.8
1000人以上	3	3	0.2	0.2

- 2) 従業者規模別生産金額（月平均）の状況は、第24表のとおりである。これによると、全体の75.4%を占める50人未満の製造所における生産金額は、3,308億円（6.6%）にすぎない。これに対し、従業員50人以上300人未満の製造所では3兆0,609億円（61.4%）、300人以上の製造所は1兆5,932億円（32.0%）を生産している。

第24表 従業者規模別生産金額（月平均）

従業者規模	生産金額		構成割合	
	18年	17年	18年	17年
総数	4,984,845	5,605,546	100.0	100.0
9人以下	29,914	85,661	0.6	1.5
10～49	300,862	352,241	6.0	6.3
50～99	706,127	666,139	14.2	11.9
100～299	2,354,771	2,997,925	47.2	53.5
300～499	759,954	623,633	15.2	11.1
500～999	779,505	823,738	15.6	14.7
1000人以上	53,712	56,209	1.1	1.0

## (2) 生産規模別構成

医薬品の生産規模別製造所数及び生産金額は、第25表のとおりである。1ヶ月間における自社生産金額及び受託生産金額1億円未満の製造所数は1,580(82.3%)であるが、その生産金額は1,632億円で自社生産及び受託生産の総額の3.3%にすぎない。これに対し、1億円以上の製造所数は340(17.7%)であるが、その生産金額は4兆8,217億円で96.7%を占めている。

第25表 生産規模別製造所数及び生産金額

1ヵ月間の生産金額	製造等のあった製造所数				生産金額			
	月平均		構成割合		金額		構成割合	
	18年	17年	18年	17年	18年	17年	18年	17年
総数	1,919	1,923	100.0	100.0	4,984,845	5,605,546	100.0	100.0
百万円未満	870	856	45.3	44.5	1,098	1,099	0.0	0.0
百万円～5百万円未満	286	294	14.9	15.3	8,508	8,859	0.2	0.2
5百万円～1千万円未満	114	117	5.9	6.1	9,738	9,932	0.2	0.2
1千万円～5千万円未満	219	215	11.4	11.2	64,758	62,609	1.3	1.1
5千万円～1億円未満	91	93	4.8	4.8	79,090	81,061	1.6	1.4
1億円～5億円未満	185	186	9.7	9.7	520,135	516,143	10.4	9.2
5億円～10億円未満	62	59	3.2	3.0	535,548	505,812	10.7	9.0
10億円以上	93	104	4.8	5.4	3,765,970	4,420,031	75.5	78.9

## 6. 医薬品の輸出入状況

医薬品の輸出入の統計は、輸入に関しては最終製品での輸入及び輸入製剤からの国内での小分け製造について医薬品製造販売事務所又は医薬品製造所からの報告により明らかにされているが、輸出に関しては医薬品製造販売事務所又は医薬品製造所からの報告であるため、商社等を通じての取引は把握されていない。また、最終製品以外の医薬品（バルク、原末等）の輸出入の調査は行っていない。したがって、以下に記述する金額を利用するにあたっては注意が必要である。